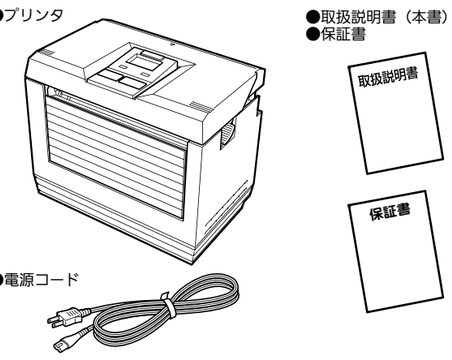
BARTRONICS®

CF408T 取扱説明書

このたびは、当社バートロニクス CF408T（以降、「本製品」と呼びます）をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございました。
本書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

1. 同梱品の確認

箱の中には以下のものが同梱されています。すべての同梱品が揃っているか確認してください。もし、足りないものがありましたら、販売店、ディーラー、または、お客さまヘルプデスクにお問い合わせください。



ご注意

(1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
(2) 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
(3) 本書の内容について万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、購入されました販売店、ディーラーへご連絡ください。
(4) この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

Q03973003

初版 2012 年 9 月
第 4 版 2022 年 10 月　Q03973003

©2022　株式会社サトー

2. 安全上のご注意

この取扱説明書では、プリンタのご使用時における安全について記載しております。プリンタをご使用になる前に必ずお読みください。

絵表示について
この取扱説明書やプリンタの表示では、プリンタを安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解して、本文をお読みください。

⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物の損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例
△記号は「気をつけるべきこと」を意味しています。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。
⃠記号は「してはいけないこと」を意味しています。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
●記号は「しなければならないこと」を意味しています。図の中に具体的な内容指示（左図の場合は差込みプラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

⚠ 警　告

指定以外の電圧は使用しない
・指定された電源電圧以外は、使用しないでください。火災・感電の原因になります。

不安定な場所に置かない
・ぐらついた台の上や傾いた場所、振動のある場所などに置かないでください。本製品が落ちたり倒れたりして、ケガをするおそれがあります。

高温になる場所に置かない
・本製品を発熱するもの（加熱調理器具やストーブなど）のそばなど、高温になる場所に置かないでください。本製品が破損し、火災・感電の原因になります。

落下・破損した場合は
・本製品を落下させたり破損したりした場合は、すぐに電源を切り、電源コードのプラグをコンセントから抜いて、販売店、ディーラーまたはお客さまヘルプデスクにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

電源コードやケーブルの取り扱い
・電源コードやケーブルを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また、重いものを載せたり、加熱したり、高温になる場所に置いたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。火災・感電の原因になります。
・電源コードやケーブルが傷んだら（芯線の露出・断線・変形など）、販売店、ディーラーまたはお客さまヘルプデスクにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。
・同梱品の電源コードは本製品専用です。他の電気製品に使用しないでください。また、本製品に他の電源コードを使用しないでください。火災・感電の原因になります。

異常な状態で使用しない
・煙が出ている、変な臭いがするなどの異常が発生したまま本製品を使用しないでください。火災・感電の原因になります。すぐに電源を切り、電源コードのプラグをコンセントから抜いて、販売店、ディーラーまたはお客さまヘルプデスクに修理をご依頼ください。

内部に異物を入れない
・本製品の開口部（ケーブルの出口など）から金属類や燃えやすいものを差し込んだり、落としたりしないでください。万一、内部に異物が入った場合は、すぐに電源を切り、電源コードのプラグをコンセントから抜いて、販売店、ディーラーまたはお客さまヘルプデスクにご連絡ください。そのまま使用すると火災・発火・発熱・感電の原因になります。

濡れた手で操作しない
・濡れた手で電源の操作ならびに電源コードやケーブルの抜き差しをしないでください。感電・故障の原因になります。

分解しない
・本製品を分解したり、改造したりしないでください。火災・感電の原因になります。内部の点検・調整・修理は、販売店、ディーラーまたはお客さまヘルプデスクにご依頼ください。

プリンタ清掃液の取り扱い
・同梱品または推奨以外のプリンタ清掃液を使用しないでください。
・プリンタ清掃液は、火気厳禁です。絶対に加熱したり、火の中に投入したりしないでください。
・お子様が間違って飲み込まないように手の届かない場所に保管してください。万一飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。

カッタに手やものを入れない
・カッタの刃に触れたり、用紙以外の異物を入れたりしないでください。ケガをするおそれがあります。

⚠ 注　意

電源コード・ケーブル
・電源コードやケーブルをコンセントやコネクタから抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードやケーブルを持って抜くと芯線が露出したり断線したりして、火災・感電・故障の原因になります。
・電源コードやケーブルに熱器具を近付けないでください。電源コードやケーブルの被覆が溶けて、火災・感電・故障の原因になります。

ファンフォールド紙のセット
・用紙供給口やカバーでケガをしないように注意してください。

ロール紙のセット
・ロール紙をセットするときは、用紙と供給部の間に指を挟まないように注意してください。

カバー
・カバーの開閉には、指を挟まないように注意してください。また、カバーが閉まらないようにしっかりと持ってください。

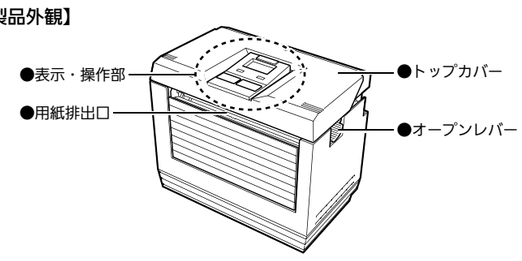
サーマルヘッド
・印字後のサーマルヘッドは、高温度になっています。用紙を交換するときや清掃をするときは、火傷をしないように注意してください。
・サーマルヘッドの端を素手で触るとケガをするおそれがあります。用紙の交換、清掃は、ケガをしないように注意してください。
・お客様によるサーマルヘッドの交換は、おこなわないでください。ケガ、火傷および感電のおそれがあります。

長期間使用しないとき
・本製品を長期間使用しないときは、安全のため電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。

お手入れ・清掃のとき
・本製品のお手入れや清掃をするときは、安全のため電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。

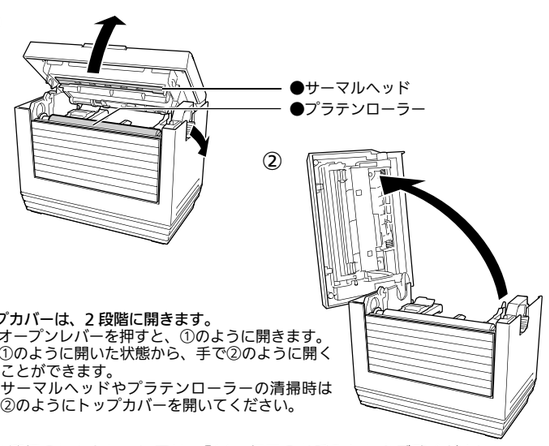
3. 各部の名称

【本製品外観】



☞ 用紙のセットは、「6. 用紙のセット」の「1 ファンフォールド紙のセット」、または「2 ロール紙（オプション）のセット」をご覧ください。

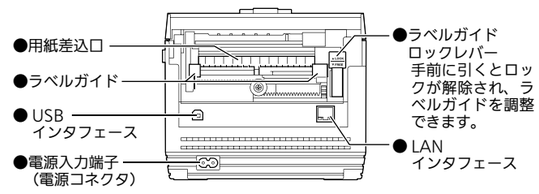
【本製品外観（カバーオープン）】



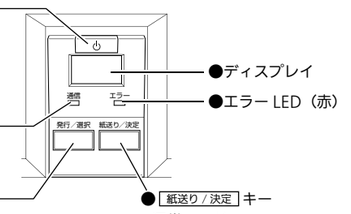
トップカバーは、2 段階に開きます。
1) オープンレバーを押すと、①のように開きます。
2) ①のように開いた状態から、手で②のように開くことができます。
サーマルヘッドやプラテンローラーの清掃時は②のようにトップカバーを開いてください。

☞ 清掃のしかたについては、「11. 毎日のお手入れ」をご覧ください。

【背面部】



【表示・操作部】



● 発行 / 選択 キー
・通常モード：
発行開始 / 停止を切替えます。
・各種設定モード：
項目や数値が選択できます。
紙送り / 決定 キーと同時に押すと 1 つ前の画面に戻ります。数値入力中は、前の桁にカーソルを移動できます。

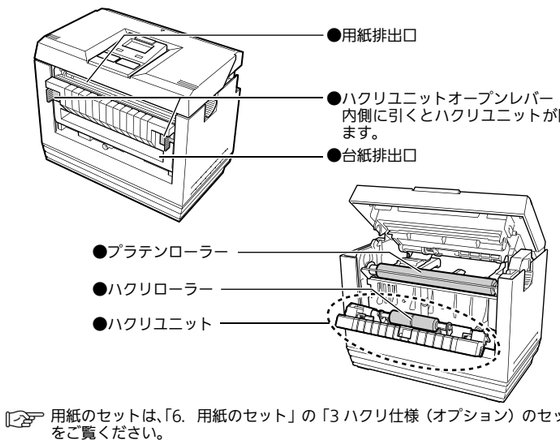
● 紙送り / 決定 キー
・通常モード：
用紙を 1 枚紙送りします。
・各種設定モード：
数値や項目を決定します。
発行 / 選択 キーと同時に押すと 1 つ前の画面に戻ります。数値入力中は、前の桁にカーソルを移動できます。

◆調整モードを表示するには
発行 / 選択 キーを押して停止中状態（オフライン）にし、発行 / 選択 キーを 3 秒以上押してください。

◆設定モードを表示するには
発行 / 選択 キーを押して停止中状態（オフライン）にし、印字データがないときに 発行 / 選択 キーと 紙送り / 決定 キーを 3 秒以上同時に押してください。

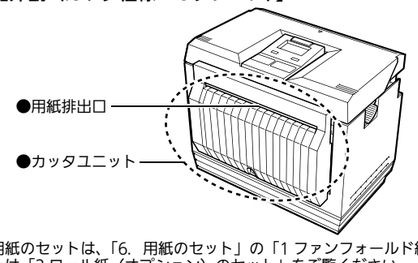
3. 各部の名称

【本製品外観（ハクリ仕様　オプション）】



☞ 用紙のセットは、「6. 用紙のセット」の「3 ハクリ仕様（オプション）のセット」をご覧ください。

【本製品外観（カッタ仕様　オプション）】



☞ 用紙のセットは、「6. 用紙のセット」の「1 ファンフォールド紙のセット」、または「2 ロール紙（オプション）のセット」をご覧ください。
※ カッタの切れが悪くなった場合、販売店、ディーラー、またはお客さまヘルプデスクにお問い合わせください。

【ディスプレイの表示】

●通常モード

(1)	(2)	(3)	
HEX	H C B	▶	①情報表示部
発行中 000000			②メッセージ表示部

①情報表示部（表示色：黄）
(1) 状態補助表示部
エラー番号や HEX ダンプ印字状態を表示します。
(2) 警告アイコン表示部
各種警告アイコンを表示します。警告アイコンは発生した順に左側から表示します。

アイコン	説明
H	ヘッド断線を検出しました。
C	コマンドエラーを検出しました。
B	受信バッファニアフルを検出しました。

(3) 印字状態アイコン表示部
印字状態に応じて各種アイコンを表示します。

アイコン	説明
▶	印字動作中です。
II	印字停止中です。（残り印字データがある場合）
■	印字停止中です。（残り印字データがない場合）

②メッセージ表示部（表示色：青）
各種メッセージおよび発行枚数を表示します。

●各種設定モード

印字設定	①設定モード表示部
基点補正	②設定項目表示部
V:+0000 H:+000	③設定内容表示部

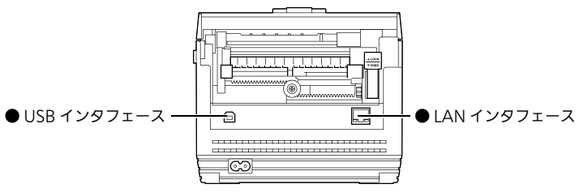
①設定モード表示部（表示色：黄）
現在の設定モードを表示します。
②設定項目表示部（表示色：青）
設定項目名を表示します。
③設定内容表示部（表示色：青）
現在の設定内容を表示します。

4. インタフェースの接続

⚠ 注意	インタフェースケーブルを接続するときは、必ず本製品の電源を切ってください。

インタフェースの規格に適合したケーブルをご使用ください。

ご使用になるインタフェースケーブルの端子の向きを確認して、インタフェースコネクタに接続します。
接続するときは、本製品を押さえて、インタフェースケーブルをしっかりと差し込んでください。



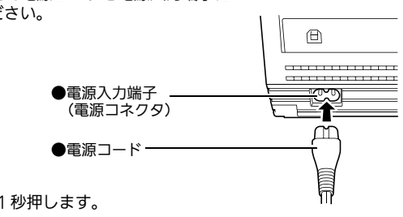
☞ 通信設定については、「8. 設定してみましょう」の「2-2 通信設定操作」をご覧ください。
※ LAN の設定には、プリンタ設定ツールをご利用ください。詳細については、プリンタ設定ツール説明書をご覧ください。
プリンタ設定ツールおよびプリンタ設定ツール説明書、プリンタドライバは、アクセサリ CD-ROM（オプション）* に収録されています。
* アクセサリ CD-ROM については、販売店、ディーラー、または弊社営業担当者にお問い合わせください。

5. 電源を入れてみましょう

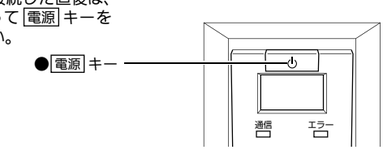
⚠ 注意	本製品に付属の電源コードは、本製品専用です。他の電気製品には使用できません。
	濡れた手で電源キーの操作や電源コードの抜き差しをしないでください。感電のおそれがあります。

1 電源コードを電源コンセントにつないでください。

2 本製品を押さえて電源コードを電源入力端子に差し込んでください。



3 電源 キーを約 1 秒押します。
※電源コードを接続した直後は、約 10 秒間待って 電源 キーを押してください。



4 ディスプレイに「発行可能」が表示されます。

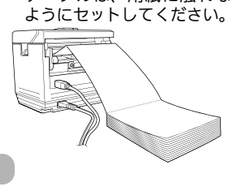
```
発行可能
 000000
```

6. 用紙のセット

1 ファンフォールド紙のセット

1 ラベルガイドロックレバーを手前に引き、用紙の幅に合わせてラベルガイドを調整します。調整後は、ラベルガイドロックレバーを元に戻します。下図は、ロックされた状態です。

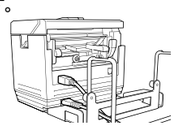
2 使用する用紙長さ 1 枚＋ 5cm 以上プリンタから離して用紙を設置してください。用紙差込口に用紙を通すと、自動で用紙をセットします。
※ 電源コードやインタフェースケーブルは、用紙に触れないようにセットしてください。



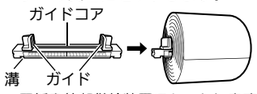
2 ロール紙（オプション）のセット

1 外部供給装置（オプション）を本製品に取り付けます。
外部供給装置のポスト（突起部）をプリンタ底面の穴にセットします。

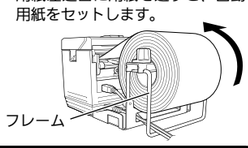
2 本製品にインタフェースケーブルと電源コードを接続し、外部供給装置の背面または側面の穴に通します。



3 使用する用紙幅（mm）に合わせて、左右のガイドを目盛の位置に調整してください。ガイドコアをラベル支管にセットします。

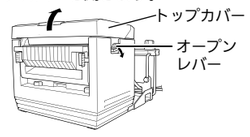


4 用紙を外部供給装置にセットします。ガイドコアの溝をフレームの平らな部分にセットします。
5 ラベルガイドロックレバーを手前に引き、ラベルガイドを用紙サイズに合わせます。
☞ ファンフォールド紙のセット手順 1 をご覧ください。
6 本製品の電源を入れます。
用紙差込口に用紙を通すと、自動で用紙をセットします。

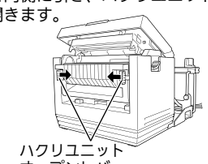


3 ハクリ仕様（オプション）のセット

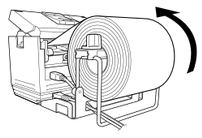
1 外部供給装置（オプション）を本製品に取り付けます。
☞ ロール紙（オプション）のセット手順 1 ～手順 2 をご覧ください。
2 オープンレバーを下に押し、トップカバーを開きます。



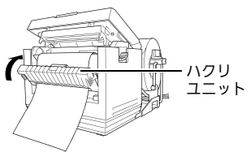
3 ハクリユニットオープンレバーを内側に引き、ハクリユニットを開きます。



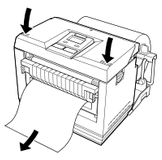
4 使用する用紙幅（mm）に合わせて、左右のガイドを目盛の位置に調整してください。ガイドコアをラベル支管にセットします。
☞ ロール紙（オプション）のセット手順 3 をご覧ください。
5 用紙を外部供給装置にセットします。ガイドコアの溝をフレームの平らな部分にセットします。
6 用紙の先頭から約 10cm 以上ラベルをはがし、台紙だけの部分をつくります。
7 ラベルガイドロックレバーを手前に引き、ラベルガイドを用紙サイズに合わせます。
☞ ファンフォールド紙のセット手順 1 をご覧ください。
8 用紙差込口に用紙を通します。



9 ラベルをはがした用紙をハクリユニットに通します。ハクリユニットをカチッと音がするまでしっかりと閉じます。



10 トップカバーをカチッと音がするまでしっかりと閉じます。
用紙を引き、たるみを取ってください。



7. 動かしてみましょう

1 発行可能操作

```
発行可能
 000000
```

本製品が印字可能な状態です。（オンライン）
本製品が発行可能状態のとき、次の操作ができます。
● 発行 / 選択 キーを押すと、停止中状態（オフライン）に変わります。
●印字中に 発行 / 選択 キーを押すと、印字を一時停止します。
本製品の設定を変更する場合は、停止中状態（オフライン）にしてください。

2 停止中操作

本製品が印字停止している状態です。（オフライン）
本製品が停止中状態のとき、次の操作ができます。

●印字データがない場合（「設定モード」または「調整モード」に入れます。）

```
停止中 ■
 000000
```

● 発行 / 選択 キーを押すと、発行可能状態に変わります。
● 紙送り / 決定 キーを押すと、用紙を 1 枚送ります。
● 発行 / 選択 キーを 3 秒以上押すと、印字位置などを調整する「調整モード」に変わります。
☞「8. 設定してみましょう」の「1 調整モード操作」をご覧ください。
● 発行 / 選択 キーと 紙送り / 決定 キーを同時に 3 秒以上押すと、各種設定ができる「設定モード」に変わります。
☞「8. 設定してみましょう」の「2 設定モード操作」をご覧ください。

●印字データがある場合（「調整モード」に入れます。）

```
発行停止中 II
 000000
```

● 発行 / 選択 キーと 紙送り / 決定 キーを同時に押すと、発行キャンセル画面に変わります。
● 発行 / 選択 キーを 3 秒以上押すと、印字位置などを調整する「調整モード」に変わります。
☞「8. 設定してみましょう」の「1 調整モード操作」をご覧ください。

3 発行キャンセル操作

```
発行停止中
発行キャンセル
 する しない
```

①発行 / 選択 キーで“する”、“しない”を選び、紙送り / 決定 キーを押します。
・“する”は、受信済みの印字データをクリアし、手順②に変わります。
・“しない”は、受信済みの印字データをクリアせず、発行停止中画面に戻ります。

```
発行停止中
発行キャンセル
   完了
```

②約 3 秒表示後に発行停止中画面に変わります。

8. 設定してみましょう

1 調整モード操作

●調整モードでは、印字位置、停止位置、カット位置、印字濃度、ブザー音、画面の明るさが設定できます。
初期値は、下記画面の数値およびカーソルの設定値になります。

```
停止中 ■
 000000
```

または

```
発行停止中 II
 000000
```

①発行 / 選択 キーを押して停止中状態（オフライン）にし、発行 / 選択 キーを 3 秒以上押します。
停止中画面または発行停止中画面で 発行 / 選択 キーを 3 秒以上押すと、調整モード画面に変わります。

```
調整モード
印字位置
 +0.00mm
```

②印字位置を調整します。
(1) 発行 / 選択 キーで方向を選び、紙送り / 決定 キーを押します。
（＋：印字方向に対し後ろ、－：印字方向に対し前）
(2) 発行 / 選択 キーで印字位置を設定し、紙送り / 決定 キーを押します。
カッタ仕様は、手順④に変わります。
・設定範囲は、+3.75 ～ −3.75mm です。
・調整モードを終了したいときは、発行 / 選択 キーと 紙送り / 決定 キーを同時に押すと停止中状態に戻ります。

```
調整モード
停止位置
 +0.00mm
```

③停止位置を調整します。
(1) 発行 / 選択 キーで方向を選び、紙送り / 決定 キーを押します。
（＋：印字方向に対し後ろ、－：印字方向に対し前）
(2) 発行 / 選択 キーで停止位置を設定し、紙送り / 決定 キーを押します。
手順⑤に変わります。
・設定範囲は、+3.75 ～ −3.75mm です。

```
調整モード
カット位置
 +0.00mm
```

④カット位置を調整します。
(1) 発行 / 選択 キーで方向を選び、紙送り / 決定 キーを押します。
（＋：印字方向に対し後ろ、－：印字方向に対し前）
(2) 発行 / 選択 キーでカット位置を設定し、紙送り / 決定 キーを押します。
手順⑤に変わります。
・設定範囲は、+3.75 ～ −3.75mm です。

```
調整モード
印字濃度
 50
```

⑤印字濃度を調整します。
設定した印字濃度を微調整するときに使用します。
(1) 発行 / 選択 キーで十の位を設定し、紙送り / 決定 キーを押します。
(2) 発行 / 選択 キーで一の位を設定し、紙送り / 決定 キーを押します。
・設定範囲は、00～99 です。設定値が大きくなると濃くなります。

8. 設定してみましょう

```
調整モード
ブザー音
 有効 無効
```

⑥ブザー音の ON/OFF を設定します。
発行 / 選択 キーでブザーの“有効”、“無効”を選び、紙送り / 決定 キーを押します。
・“有効”は、ブザーが ON になります。
・“無効”は、ブザーが OFF になります。

```
調整モード
画面明るさ
 2
```

⑦画面の明るさを設定します。
発行 / 選択 キーで画面の明るさを設定し、紙送り / 決定 キーを押します。
・印字データがある場合は、発行停止中画面に戻ります。
・印字データがない場合は、手順⑧に変わります。
・設定範囲は、1～3 です。設定値が大きくなると明るくなります。

```
調整モード
センサ自動調整
 する しない
```

⑧センサの自動調整を設定します。
発行 / 選択 キーで“する”、“しない”を選び、紙送り / 決定 キーを押します。
・“する”は、手順⑨に変わります。
・“しない”は、センサの自動調整をせず、調整モードを終了して停止中状態に戻ります。

```
センサ調整（自動）
センサ選択
 すべて ▶
 反射 ▶
 透過 ▶
```

⑨用紙をセットし、センサ調整（自動）のセンサを選択します。
[センサ調整時の用紙セット方法] を参考に用紙をセットしてください。
発行 / 選択 キーで“すべて”、“反射”、“透過”を選び、紙送り / 決定 キーを押します。
・“すべて”は、反射センサ、透過センサを自動調整します。
・“反射”は、反射センサを自動調整します。
・“透過”は、透過センサを自動調整します。

[センサ調整時の用紙セット方法]
(1) 用紙先端のラベルを約 9cm 分はがします。
(2) 台紙の先端が、用紙排出口から見えるようにプリンタにセットします。
※センサの自動調整をおこなうには、最大 7 枚程度のラベルを使用します。
※用紙センサにアイマーク（黒いマーク）、ラベルがかからないようにセットしてください。
※用紙センサは、左のラベルガイドの手前に内蔵されています。（プリンタ正面から見た場合）

```
センサ調整（自動）
調整中…
```

⑩選んだセンサの自動調整が開始します。

```
センサ調整（自動）
反射　成功
透過　成功
```

⑪ブザーが 3 回鳴ったら、自動調整が完了です。
発行 / 選択 キーを押します。停止中状態に変わります。
※ センサ自動調整中はデータを送らないでください。

2 設定モード操作

●設定モードは、本製品ご購入時や用紙種類を変更したときなど、設定を変更する場合に使用します。
設定モードには、基本設定、通信設定、拡張設定、HEX ダンプ、設定初期化があります。

```
停止中 ■
 000000
```

①発行 / 選択 キーを押して停止中状態（オフライン）にし、印字データがないときに 発行 / 選択 キーと 紙送り / 決定 キーを 3 秒以上同時に押します。
停止中画面で 発行 / 選択 キーと 紙送り / 決定 キーを同時に 3 秒以上押すと、設定モード画面に変わります。

```
設定モード
発行再開
 選択 決定
```

②発行 / 選択 キーで“選択”、“決定”を選び、紙送り / 決定 キーを押します。
・“選択”は、手順③に変わります。
・“決定”は、発行可能状態に変わります。
・設定モードを終了したいときは、発行 / 選択 キーと 紙送り / 決定 キーを同時に押すと停止中状態に戻ります。

```
設定モード
基本設定
 選択 決定
```

③発行 / 選択 キーで“選択”、“決定”を選び、紙送り / 決定 キーを押します。
・“選択”は、手順④に変わります。
・“決定”は、「2-1 基本設定操作」に変わります。

```
設定モード
通信設定
 選択 決定
```

④発行 / 選択 キーで“選択”、“決定”を選び、紙送り / 決定 キーを押します。
・“選択”は、手順⑤に変わります。
・“決定”は、「2-2 通信設定操作」に変わります。

```
設定モード
拡張設定
 選択 決定
```

⑤発行 / 選択 キーで“選択”、“決定”を選び、紙送り / 決定 キーを押します。
・“選択”は、手順⑥に変わります。
・“決定”は、「2-3 拡張設定操作」に変わります。

```
設定モード
HEXﾀﾞﾝﾌﾟ
 選択 決定
```

⑥発行 / 選択 キーで“選択”、“決定”を選び、紙送り / 決定 キーを押します。
・“選択”は、手順⑦に変わります。
・“決定”は、「2-4HEX ダンプ印字操作」に変わります。

```
設定モード
設定初期化
 選択 決定
```

⑦弊社カスタマーエンジニアが使用するモードです。
発行 / 選択 キーで“選択”を選び、紙送り / 決定 キーを押します。
手順②に戻ります。設定モードを終了するときは、発行 / 選択 キーと 紙送り / 決定 キーを同時に押してください。キーを押すと停止中状態に変わります。

2-1 基本設定操作

●設定モードには、印字設定、フォント設定、動作設定があります。

```
基本設定
印字設定
 選択 決定
```

①発行 / 選択 キーで“選択”、“決定”を選び、紙送り / 決定 キーを押します。
・“選択”は、手順②に変わります。
・“決定”は、【印字設定】に変わります。
発行 / 選択 キーと 紙送り / 決定 キーを同時に押すと設定モードを終了し、停止中状態に戻ります。

```
基本設定
ﾌｫﾝﾄ設定
 選択 決定
```

②発行 / 選択 キーで“選択”、“決定”を選び、紙送り / 決定 キーを押します。
・“選択”は、手順③に変わります。
・“決定”は、【フォント設定】に変わります。

```
基本設定
動作設定
 選択 決定
```

③発行 / 選択 キーで“選択”、“決定”を選び、紙送り / 決定 キーを押します。
・“選択”は、手順①に戻ります。
・“決定”は、【動作設定】に変わります。

【印字設定】

●印字設定では、調整設定値の確認および印字速度、印字濃度、基点補正の設定ができます。
初期値は、下記画面の数値およびカーソルの設定値になります。

```
印字設定
調整設定値
PITCH +0.00 ▶
OFFSET +0.00 ▶
DARKNESS 50 ▶
```

①調整設定値を確認します。
発行 / 選択 キーで確認したい調整項目を選びます。
確認完了後、紙送り / 決定 キーを押します。
・発行 / 選択 キーを押すたびに項目が、PITCH（印字位置）→ OFFSET（停止位置、カット位置）→ DARKNESS（印字濃度）→ PITCH の順に変わります。
・紙送り / 決定 キーで手順②に変わります。

```
印字設定
印字速度
 4インチ
```

②印字速度を設定します。
発行 / 選択 キーで印字速度を設定し、紙送り / 決定 キーを押します。
・設定範囲は、2 ～ 6 インチです。
・「2-3 拡張設定操作」の印字濃度レンジを A に設定したときのみ表示します。

```
印字設定
印字濃度
 05
```

③印字濃度を設定します。
印字濃度を設定するときに使用します。
発行 / 選択 キーで印字濃度を設定し、紙送り / 決定 キーを押します。
・設定範囲は、01 ～ 10 です。設定値が大きいと濃くなります。

```
印字設定
基点補正
V:+0000 H:+000
```

④印字の基点補正を設定します。
(1) 発行 / 選択 キーで V（縦）の方向を選び、紙送り / 決定 キーを押します。
（＋：印字方向に対し後ろ、－：印字方向に対し前）
(2) 発行 / 選択 キーで補正値を設定し、紙送り / 決定 キーを押します。
(3) 発行 / 選択 キーで H（横）の方向を選び、紙送り / 決定 キーを押します。
（+：プリンタ正面に向かって左側、－：プリンタ正面に向かって右側）
(4) 発行 / 選択 キーで補正値を設定し、紙送り / 決定 キーを押します。基本設定画面に変わります。
・設定範囲は、V：−3200 ～ +3200dot、H：−832 ～ +832dot です。

【フォント設定】

●フォント設定では、ゼロスラッシュ、プロポーショナルピッチ、文字コード、漢字コードの設定ができます。初期値は、下記画面のカーソルの設定値になります。

```
フォント設定
ゼロスラッシュ
 有効 無効
```

①ゼロを“Ø”、または“0”に設定します。
発行 / 選択 キーで“有効”、“無効”を選び、紙送り / 決定 キーを押します。
・“有効”は、“Ø”になります。
・“無効”は、“0”になります。

```
フォント設定
ﾌﾟﾛﾎﾟｰｼｮﾅﾙﾋﾟｯﾁ
 有効 無効
```

②プロポーショナルピッチ処理（文字ごとの横幅で印字するか、または文字幅を固定で印字するか）を設定します。
発行 / 選択 キーで“有効”、“無効”を選び、紙送り / 決定 キーを押します。
・“有効”は、各文字の横幅で印字します。
・“無効”は、文字幅固定で印字します。

```
フォント設定
文字コード
 JIS ▶
 シフト JIS ▶
 Unicode ▶
```

③取扱う文字コードを設定します。
発行 / 選択 キーで“JIS”、“シフト JIS”、“Unicode”を選び、紙送り / 決定 キーを押します。
・“JIS”は、JIS コードを指定します。
・“シフト JIS”は、シフト JIS コードを指定します。
・“Unicode”は、Unicode を指定します。

```
フォント設定
漢字コード
 標準 ▶
 拡張 ▶
```

④漢字コードを設定します。
発行 / 選択 キーで“標準”、“拡張”を選び、紙送り / 決定 キーを押します。基本設定画面に変わります。
・“標準”は、第 1 水準、第 2 水準漢字を印字します。
・“拡張”は、第 1 水準、第 2 水準、第 3 水準、第 4 水準漢字を印字します。

【動作設定】

●動作設定では、動作モード、バックフィード動作、用紙種設定、センサタイプ、節電時間の設定ができます。
初期値は、下記画面の数値およびカーソルの設定値になります。

動作設定
動作モード
ティアオフ ▶
連続 ▶
カッタ ▶
ハクリ ▶

①動作モードを設定します。
発行 / 選択 キーで“ティアオフ”、“連続”、“カッタ”、“ハクリ”を選び、紙送り / 決定 キーを押します。
・カッタ、ハクリは、オプション装着時のみ表示します。
・ティアオフ、連続を設定すると、手順③に変わります。
・カッタ、ハクリを設定すると、手順②に変わります。
・カッタ仕様は、初期値が“カッタ”になります。
・ハクリ仕様は、初期値が“ハクリ”になります。

動作設定
ﾊﾞｯｸﾌｨｰﾄﾞ動作
印字後 ▶
印字前 ▶
なし ▶

②バックフィード動作を設定します。
発行 / 選択 キーで“印字後”、“印字前”、“なし”を選び、紙送り / 決定 キーを押します。
・“印字後”は、印字した後にバックフィードします。
・“印字前”は、印字する前にバックフィードします。
・“なし”は、バックフィードしません。カッタ仕様のみ表示します。

動作設定
用紙種設定
単枚 ▶
連続 ▶

③使用する用紙種を設定します。
発行 / 選択 キーで“単枚”、“連続”、を選び、紙送り / 決定 キーを押します。
・“単枚”は、単枚用紙やファンフォールド紙を使用するときに選びます。
・“連続”は、ロール紙を使用するときに選びます。

動作設定
センサタイプ
透過 ▶
反射 ▶
センサ無効 ▶

④用紙ピッチセンサタイプを設定します。
発行 / 選択 キーで“透過”、“反射”、“センサ無効”を選び、紙送り / 決定 キーを押します。
・“透過”は、用紙ピッチセンサを透過センサに設定します。
・“反射”は、用紙ピッチセンサを反射センサに設定します。
・“センサ無効”は、用紙ピッチセンサを使用しません。動作モードが連続およびカッタの場合のみ表示します。

動作設定
節電時間
01 分

⑤同一画面を繰返し長時表示すると画面の焼付きが発生します。消費電力の節減と焼付け防止のため、一定時間操作がおこなわれない場合にディスプレイを消灯します。
発行 / 選択 キーで節電時間を設定し、紙送り / 決定 キーを押します。基本設定画面に変わります。
・設定範囲は 00 ～ 15 分で、初期設定は“01”です。設定した時間が経過すると、ディスプレイは消灯します。
・“00”は、節電されません。

2-2 通信設定操作

●通信設定では、インタフェース、通信プロトコル、ステータス返送タイミングを設定できます。
初期値は、下記画面のカーソルの設定値になります。

通信設定
インタフェース
自動検出 ▶
USB ▶
LAN ▶

①使用するインタフェースを設定します。
発行 / 選択 キーで“自動検出”、“USB”、“LAN”を選び、紙送り / 決定 キーを押します。
・“自動検出”は、電源 ON 時に接続されているインタフェースを自動検出します。
※ USB が接続されている場合、設定モードに変わります。LAN が接続されている場合、手順②に変わります。USB と LAN が同時に接続されている場合、USB モードで動作します。
・“USB”は、USB のみ通信可能です。
通信設定画面に戻ります。
・“LAN”は、LAN のみ通信可能です。
手順②に変わります。

通信設定
通信プロトコル
STATUS4 ▶
STATUS3 ▶

②通信プロトコルを設定します。
発行 / 選択 キーで“STATUS4”、“STATUS3”を選び、紙送り / 決定 キーを押します。
・“STATUS4”は、プリンタドライバを使用するときに設定します。
手順③に変わります。
・“STATUS3”は、プリンタドライバを使用せず、直接操作するときに設定します。
設定モードに変わります。

通信設定
ｽﾃｰﾀｽ返送ﾀｲﾐﾝｸﾞ
ENQ 応答 ▶
周期応答 ▶

③ステータス返送タイミングを設定します。
発行 / 選択 キーで“ENQ 応答”、“周期応答”を選び、紙送り / 決定 キーを押します。設定モードに変わります。
・“ENQ 応答”は、コンピュータからステータス要求（ENQ）を受信するとプリンタからコンピュータにステータスを返送します。
・“周期応答”は、900ms 間隔でプリンタからコンピュータにステータスを返送します。

※ LAN の設定には、プリンタ設定ツールをご利用ください。詳細については、プリンタ設定ツール説明書をご覧ください。
プリンタ設定ツールおよびプリンタ設定ツール説明書は、アクセサリ CD-ROM（オプション）* に収録されています。

* アクセサリ CD-ROM については、販売店、ディーラー、または弊社営業担当にお問い合わせください。

2-3 拡張設定操作

●拡張設定では、濃度レンジ、コマンドエラー音、コマンドエラー表示、ヘッドチェック、起動時オンライン、制御コード、優先設定を設定できます。
初期値は、下記画面の数値およびカーソルの設定値になります。

拡張設定
濃度レンジ
A B

①濃度レンジを設定します。
発行 / 選択 キーで濃度レンジを選び、紙送り / 決定 キーを押します。
・“A”を選びます。変更は不要です。

拡張設定
ｺﾏﾝﾄﾞｴﾗｰ音
有効 無効

②コマンドエラー音の有効、無効を設定します。
発行 / 選択 キーで“有効”、“無効”を選び、紙送り / 決定 キーを押します。
・“有効”は、コマンドエラー発生時にブザーが鳴ります。
ブザー音を無効に設定するとブザーが鳴りません。
・“無効”は、コマンドエラー発生時にブザーが鳴りません。

拡張設定
ｺﾏﾝﾄﾞｴﾗｰ表示
有効 無効

③コマンドエラー表示の有効、無効を設定します。
発行 / 選択 キーで“有効”、“無効”を選び、紙送り / 決定 キーを押します。
・“有効”は、コマンドエラー発生時にコマンドエラー画面を表示し、発行を停止します。
※ 弊社のカスタマー・エンジニアが使用するモードのため、通常は“無効”に設定してください。
・“無効”は、コマンドエラー発生時にコマンドエラー画面を表示しません。

拡張設定
ヘッドチェック
有効 無効

④ヘッドチェックの有効、無効を設定します。
発行 / 選択 キーで“有効”、“無効”を選び、紙送り / 決定 キーを押します。
・“有効”は、ヘッドチェック機能を有効にします。
手順⑤に変わります。
・“無効”は、ヘッドチェック機能を無効にします。
手順⑧に変わります。

拡張設定
チェック範囲
通常 ▶
バーコード ▶

⑤ヘッドチェックをおこなう範囲を設定します。
発行 / 選択 キーで“通常”、“バーコード”を選び、紙送り / 決定 キーを押します。
・“通常”は、印字領域をチェックします。
・“バーコード”は、バーコード印字領域のみをチェックします。
バーコードに設定し、バーコードをグラフィックデータで印字した場合、イメージデータとして印字するためチェックされません。

拡張設定
ﾍｯﾄﾞﾁｪｯｸ方法
単枚チェック ▶
枚数指定 ▶
開始終了指定 ▶

⑥ヘッドチェック方法を設定します。
発行 / 選択 キーで“単枚チェック”、“枚数指定”、“開始終了指定”を選び、紙送り / 決定 キーを押します。
・“単枚チェック”は、1 枚ごとにヘッドチェックします。
手順⑧に変わります。
・“枚数指定”は、指定した枚数ごとにヘッドチェックします。
手順⑦に変わります。
・“開始終了指定”は、印字開始前と印字停止やバックフィード時にヘッドチェックします。
手順⑧に変わります。

拡張設定
枚数指定
000001 枚

⑦何枚ごとにヘッドチェックをおこなうかを設定します。
発行 / 選択 キーで枚数を設定し、紙送り / 決定 キーを押します。
・設定範囲は、000001 ～ 999999 枚です。
・カーソルのある桁で 発行 / 選択 キーを押して設定値を変更し、紙送り / 決定 キーを押して設定します。紙送り / 決定 キーを押すとカーソルが次の桁に移動します。
一の位を設定すると、手順⑧に変わります。

◆ヘッドチェック機能について

ヘッドチェック機能は、ヘッド断線の目安で、バーコード読取りを保証する機能ではありません。定期的に読取りチェックをお願いします（印字の白抜けとヘッドチェック機能が働く時期とは多少ずれが生じることがあります）。
ヘッドエラー発生後に発行したラベルについては、印字したバーコードのスキャナ読取りをおこなって確認してください。

ヘッドエラー発生時の対処方法
<ヘッドチェック範囲設定が“通常”の場合>
● 紙送り / 決定 キーを 5 秒間押すと、ヘッドチェック範囲設定画面を表示します。
“通常”を選ぶと、ヘッドチェック範囲は印字領域のまま発行を再開します。
再度ヘッドエラーのメッセージ画面を表示します。
“バーコード”を選ぶと、ヘッドチェック範囲をバーコード印字領域に切替えて発行を再開します。
● 発行 / 選択 キーと 紙送り / 決定 キーを同時に 5 秒間押すと、ヘッドチェックを解除して停止中状態になります。
<ヘッドチェック範囲設定が“バーコード”の場合>
● 発行 / 選択 キーと 紙送り / 決定 キーを同時に 5 秒間押すと、ヘッドチェックを解除して停止中状態になります。

8. 設定してみましょう

拡張設定
起動時オンライン
有効 無効

⑧電源投入時のプリンタの状態を設定します。
発行 / 選択 キーで“有効”、“無効”を選び、紙送り / 決定 キーを押します。
・“有効”は、発行可能状態で起動します。
・“無効”は、停止中状態で起動します。

拡張設定
制御コード
ｻﾄｰ標準 ▶
ｷｬﾗｸﾀ置換 ▶

⑨制御コードを設定します。
発行 / 選択 キーで“サトー標準”、“キャラクタ置換”を選び、紙送り / 決定 キーを押します。
・“サトー標準”は、制御コードがスタンダードコードになります。
・“キャラクタ置換”は、制御コードがノンスタンダードコードになります。

拡張設定
優先設定
COMMAND ▶
INTERNAL ▶

⑩優先設定機能を設定します。
発行 / 選択 キーで“COMMAND”、“INTERNAL”を選び、紙送り / 決定 キーを押します。設定モードに変わります。
・“COMMAND”は、コンピュータからのコマンド設定を優先します。
・“INTERNAL”は、本製品内部の設定を優先します。

2-4 HEX ダンプ印字操作

● HEX ダンプ印字では、受信した印字コマンドを HEX 形式のデータで印字します。
受信データなどの確認に利用できます。

HEX
発行可能
000000

①受信データがある場合は、受信データを印字します。
発行 / 選択 キーで、手順③に変わります。

HEX
発行中
000000

② HEX ダンプ印字中の画面です。
発行が完了すると、手順①に戻ります。

HEX ■
停止中
000000

③ HEX ダンプ印字を一時停止します。
発行 / 選択 キーで、手順①に戻ります。
発行 / 選択 キーと 紙送り / 決定 キーを 3 秒以上押すと設定モードの発行再開画面に戻ります。

3 テスト印字モード操作

本製品の設定内容を確認したいときは、テスト印字をしてみましょう。
本製品の電源が入っている場合、電源を切ってください。
紙送り / 決定 キーを押しながら電源を入れます。
ブザーが鳴るまで 紙送り / 決定 キーを押したままにしてください。
ディスプレイに次のように表示します。

テスト印字
モード選択
ユーザーテスト ▶
サービステスト ▶
ﾊﾞｰｺｰﾄﾞ一覧 ▶
ﾍｯﾄﾞﾁｪｯｸ ▶
ﾌｫﾝﾄ一覧 ▶
工場テスト ▶

① 発行 / 選択 キーで“ユーザーテスト”を選び、紙送り / 決定 キーを押します。
・“ユーザーテスト”は、本製品の設定内容を印字します。
・“ユーザーテスト”以外は、弊社のカスタマー・エンジニアが確認する内容を印字します。使用しないでください。

テスト印字
サイズ選択
大きい 小さい

② 発行 / 選択 キーで“大きい”、“小さい”を選び、紙送り / 決定 キーを押します。
・“大きい”は、104mm 幅のラベルサイズで印字します。
・“小さい”は、50mm 幅のラベルサイズで印字します。

テスト印字
決定 ⇒ 発行開始

③テスト印字開始の画面です。
紙送り / 決定 キーを押すと、テスト印字を開始します。
テスト印字を終了する場合は、電源を切ってください。

テスト印字
決定 ⇒ 発行停止

④テスト印字中の画面です。
紙送り / 決定 キーを押すと、テスト印字を停止します。
手順②に戻ります。

警告表示

警告表示	説　明
用紙をセッ 通信 LED　：点灯 エラー LED：消灯	用紙待ちの画面です。 メッセージ：用紙をセットしてください 原　因：①用紙がありません。 ②用紙が正しくセットされていません。 対　策：①②用紙を正しくセットしてください。 警告音：短音 3 回
B 発行中 000000 通信 LED　：点灯 エラー LED：点滅	受信バッファニアフルの画面です。 原　因：①受信バッファの空き容量が少なくなりました。 対　策：①バッファニアフルが解除されるまで、コンピュータからデータを送信しないでください。 警告音：なし
C 発行中 000000 通信 LED　：点灯 エラー LED：消灯	コマンドエラーの画面です。 原　因：①印字データ中に不正なコマンドまたはパラメータを検出しました。 対　策：①送信したデータを確認してください。エラー解除できないときは、販売店、ディーラー、またはお客さまヘルプデスクにお問い合わせください。 警告音：短音 1 回
H 発行中 000000 通信 LED　：点灯 エラー LED：消灯	ヘッドエラーの画面です。 原　因：①ヘッドチェック検出方法を“通常”に設定した状態でヘッド断線を検出し、ヘッドチェック検出方法を“バーコード”に切替えて印字発行を継続しているか、ヘッドチェックを解除して印字発行を継続しています。 対　策：①サーマルヘッドを交換してください。 警告音：なし
印字休止中 通信 LED　：点滅 エラー LED：消灯	印字休止中の画面です。 原　因：① 1 枚単位の印字率が一定量を超えました。 対　策：①一定時間放置すると、自動で復帰します。 警告音：なし

エラー表示が出たけれど

※ メッセージは、スクロールして表示します。

エラー表示	説　明
エラー1 マシンエラ 通信 LED　：消灯 エラー LED：点灯	マシンエラーの画面です。 メッセージ：マシンエラー 原　因：①基板の不良です。 対　策：①販売店、ディーラーまたはお客さまヘルプデスクにお問い合わせください。 警告音：長音 1 回
エラー2 ROM エラー 通信 LED　：消灯 エラー LED：点灯	ROM エラーの画面です。 メッセージ：ROM エラー 原　因：① ROM にアクセスできません。 ②書込み回数がオーバーしています。 対　策：①②販売店、ディーラーまたはお客さまヘルプデスクにお問い合わせください。 警告音：長音 1 回
エラー7 カバーが開 通信 LED　：消灯 エラー LED：点滅	カバーオープンの画面です。 メッセージ：カバーが開いています 原　因：①カバーがロックされていません。 ②カバー開閉検知用マイクロスイッチの異常です。 対　策：①カバーをロックしてください。 ②販売店、ディーラー、またはお客さまヘルプデスクにお問い合わせください。 警告音：短音 3 回
エラー10 用紙を正し 通信 LED　：消灯 エラー LED：点滅	センサエラーの画面です。 メッセージ：用紙を正しくセットしてください 原　因：①用紙センサのレベルが合っていません。 ②センサ種の設定が合っていません。 対　策：①②販売店、ディーラー、またはお客さまヘルプデスクにお問い合わせください。 警告音：短音 3 回
エラー11 ヘッドが断 通信 LED　：消灯 エラー LED：点灯	ヘッドエラーの画面です。 メッセージ：ヘッドが断線しています 原　因：①サーマルヘッドに異常があります。 対　策：①販売店、ディーラー、またはお客さまヘルプデスクにお問い合わせください。 警告音：長音 1 回
エラー27 データが不正です Caaa:<bb>:cc 通信 LED　：消灯 エラー LED：点滅	コマンドエラーの画面です。 メッセージ：データが不正です* 原　因：①印字データ中に不正なコマンドまたはコマンドパラメータを検出しました。 Caaa：エラー発生位置、<bb>：エラーコマンド名、cc：エラー種別コード 対　策：①印字データを確認してください。送信したデータを確認してください。エラー解除できないときは、販売店、ディーラーまたはお客さまヘルプデスクにお問い合わせください。 警告音：短音 3 回

* コマンドエラー画面はスクロール表示しません。

モデル名	パートロニクス CF408T
印字方式	感熱方式
ヘッド密度（解像度）	8dot/mm（203dpi）
印字有効エリア	最大　長さ 400mm ×幅 104mm
印字速度	50 ～ 150mm/ 秒（ハクリ仕様 : 50 ～ 100mm/ 秒） 2 ～ 6 インチ / 秒　（ハクリ仕様 : 2 ～ 4 インチ / 秒） ※ ただし、印字レイアウト、用紙種類によって、制限が発生する場合があります。
印字禁止領域	長さ方向 上 : 1.5mm 以下、下 : 1.5mm 以下 (台紙含まず) 幅方向　左 : 1.5mm 以下、右 : 1.5mm 以下 (台紙含まず)
用紙種類 / 用紙形態	弊社指定のサプライ製品のご使用をお願いします。 ファンフォールド紙 単枚 ロール紙 (表巻き)（外部供給）
用紙厚	80 ～ 210 μ m (0.080 ～ 0.21mm) カッタ仕様 : 80 ～ 120 μ m (0.080 ～ 0.12mm)
用紙サイズ （　）は台紙サイズ	連続発行　長さ　25 ～ 397mm (　28 ～ 400mm) 幅　25 ～ 115mm (　28 ～ 118mm) ティアオフ　長さ　25 ～ 397mm (　28 ～ 400mm) 幅　25 ～ 115mm (　28 ～ 118mm) カッタ　長さ　25 ～ 397mm (　28 ～ 400mm) 幅　25 ～ 115mm (　28 ～ 118mm) ハクリ　長さ　25 ～ 100mm (　28 ～ 103mm) 幅　25 ～ 115mm (　28 ～ 118mm) 単枚発行　長さ　127 ～ 397mm (130 ～ 400mm) 幅　25 ～ 115mm (　28 ～ 118mm)
用紙外径 / 支管サイズ	ファンフォールド紙 積み高さ ：最大 100mm ロール紙（外部供給装置を使用） 用紙外形 ：最大φ 115mm 支管内径 ：φ 40mm（φ 1.5 インチ） 巻き方向 ：表巻き
動作モード	標準　：連続、ティアオフ オプション　：カッタ、ハクリ（ロール紙のみ）
寸法 / 重量	幅 178mm ×奥行き 112mm ×高さ 146mm（ただし、突起部を除く）/ 約 1.5kg
電源仕様	入力電圧　：AC100V ± 10% 消費電力　：ピーク時　78VA/50W（印字率 16%） 待機時　5.6VA/2.3W（最小値）
環境条件（温度 / 湿度）	使用温度　：0 ～ 40℃ 湿度　：30 ～ 80%RH (ただし、結露無きこと) 保存温度　：−5 ～ 60℃ 湿度　：30 ～ 90%RH (ただし、結露無きこと)

インタフェース	① USB インタフェース ② LAN インタフェース
オプション	①カッタキット ②ハクリキット ③外部供給装置（UWC400）
操作キー	①電源キー ②発行 / 選択キー ③紙送り / 決定キー
用紙長検出センサ	①アイマークセンサ ②ギャップセンサ ③ラベル位置出しセンサ
バーコード	UPC-A/UPC-E、JAN/EAN、CODE39、CODE93、CODE128、 GS1-128(UCC/EAN128)、ISBT128、CODABAR(NW-7)、ITF、 インダストリアル 2of5、マトリックス 2of5、 MSI、カスタマバーコード、UPC アドオンコード、 GS1 DataBar Omnidirectional、 GS1 DataBar Truncated、 GS1 DataBar Stacked、 GS1 DataBar Stacked Omnidirectional、 GS1 DataBar Limited、 GS1 DataBar Expanded、 GS1 DataBar Expanded Stacked ※ GS1 DataBar は旧 RSS のことです。
2 次元コード	QR コード (マイクロ QR 含む)、セキュリティ QR、 PDF417(マイクロ PDF 含む)、MAXI コード、 データマトリックス（ECC200）、 GS1 データマトリックス
合成シンボル	EAN-13　Composite、EAN-8　Composite、 UPC-A　Composite、UPC-E　Composite、 GS1 DataBar Composite、 GS1 DataBar Truncated Composite、 GS1 DataBar Stacked Composite、 GS1 DataBar Expanded Stacked Composite、 GS1 DataBar Expanded Composite、 GS1 DataBar Stacked Omnidirectional Composite、 GS1 DataBar Limited Composite、 GS1-128 Composite ※ GS1 DataBar は旧 RSS のことです。

他社製品の登録商標および商標についてのお知らせ
・QR コードは㈱デンソーウェーブの登録商標です。

標準搭載フォント	ビットマップフォント	X20 文字　5 × 9dot　(英数字、記号、カナ) X21 文字　17 × 17dot　(英数字、記号、カナ) X22 文字　24 × 24dot　(英数字、記号、カナ) X23 文字　48 × 48dot　(英数字、記号、カナ) X24 文字　48 × 48dot　(英数字、記号、カナ)
		OCR-A 文字　: 15 × 22dot (英数字、記号) OCR-B 文字　: 20 × 24dot (英数字、記号)
		漢字 16 × 16dot（JIS 第 1、2、3、4 水準、角ゴシック体) 漢字 22 × 22dot（JIS 第 1、2、3、4 水準、角ゴシック体） 漢字 24 × 24dot（JIS 第 1、2、3、4 水準、角ゴシック体） ※ 日本語（JIS X 0213 準拠）
	アウトラインフォント	英数字、記号、カナ
印字方向 (文字・バーコード)		文字　：0°、90°、180°、270° の回転が可能 バーコード : パラレル 1(0°)、パラレル 2(180°)、 シリアル 1(90°)、シリアル 2(270°)
バーコード比率		1:2、1:3、2:5、任意指定可能
拡大倍率		文字　：縦 1 ～ 12 倍、横 1 ～ 12 倍 バーコード : 2 ～ 12 倍
搭載機能		①ステータス返送機能 ②グラフィック機能（グラフィック印字指定） ③連番機能（連番指定） ④フォームオーバレイ機能（電源断消去） ⑤外字登録機能（電源断消去） ⑥文字補正機能（スムージング指定） ⑦白黒反転機能 ⑧罫線機能 ⑨ゼロスラッシュ切替機能 （X20 文字、X21 文字、X22 文字、X23 文字、X24 文字、アウトラインフォント対応） ⑩ JIS/ シフト JIS/Unicode 切替機能 ⑪HEX ダンプ機能 ⑫アウトラインフォント機能 ⑬アウトラインフォント変形機能 ⑭用紙無駄なし機能
自己診断機能		①ヘッド切れチェック ②カバーオープン検出 ③ペーパーエンド検出 ④テスト印字 ⑤漢字データチェック ⑥カッタエラー（カッタ仕様）
ノイズ（EMC）規格		VCCI Class B

※ クリーニングペンおよびプリンタクリーニングセット、ラッピングシートはオプションです。
ご購入の際はお客さまヘルプデスク、販売店にお問い合わせください。

ラベルをきれいに印字するため、また、故障を防ぐために、定期的に清掃してください。

⚠ 注意	清掃するときは、必ず電源を切ってください。
	カッタ仕様の場合、手を切らないように注意してください。

お手入れの時期

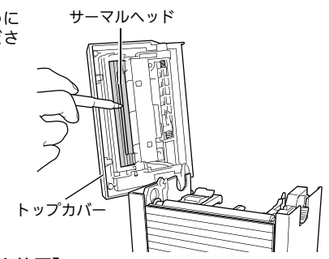
お手入れの時期の目安は、次のとおりです。
●クリーニングペン、プリンタクリーニングセットでのお手入れ
・サーマルヘッド、プラテンローラー
・・・用紙 1 束おき、あるいは用紙 150 メートル印字ごと
・その他（ラベルガイド、ラベルルートなど）
・・・用紙 6 束おき、あるいは用紙 900 メートル印字ごと
●ラッピングシートでのお手入れ
・・・用紙 6 束おき、あるいは用紙 900 メートル印字ごと

お手入れのときの注意

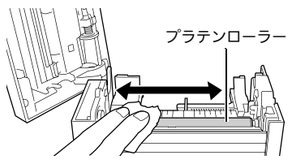
・各部の清掃には、クリーニングペンやプリンタクリーニングセット、ラッピングシートをご使用ください。
・ドライバなどの硬いものを使用して清掃すると、各部を傷つけるおそれがあります。特にサーマルヘッド部の清掃には絶対に使用しないでください。
・電源を必ず切ってからおこなってください。
・用紙を取り外してから清掃をおこなってください。

清掃のしかた

【クリーニングペンを使用】
1　トップカバーを開き、サーマルヘッド部分を見えるようにします。
2　クリーニングペンでサーマルヘッドの汚れを拭き取ります。
※トップカバーが閉じないように押さえながら清掃してください。



【プリンタクリーニングセットを使用】
1　綿布にプリンタ清掃液を付けて、プラテンローラーを回転させて、ローラー全体を清掃してください。
※トップカバーが閉じないように押さえながら清掃してください。
※カッタ仕様の場合、手を切らないよう注意してください。



【ラッピングシートを使用】
クリーニングペンやプリンタクリーニングセットの清掃で汚れが取り除けない場合は、ラッピングシートをご利用ください。
ラッピングシートの使い方は、ラッピングシートに添付の「サーマルヘッド付着カス除去について」をご覧ください。

サトーでは、お買い上げいただきましたサトーのシステム機器を、安心してご使用いただくために、保守サポート業務をおこなっております。
保守サポート業務について、ご説明します。

【保守サポートの種類一覧表】

	部品代	技術料	出張料
保証期間内のサポート	保証規定に基づき無償	保証規定に基づき無償	保証規定に基づき無償
保守契約サポート	契約料金に含みます	契約料金に含みます	契約料金に含みます
スポットサポート	そのつど有償	そのつど有償	そのつど有償

標準仕様機器の補修部品の保有は、当該機器の販売終了後から 5 年間です。
（機器の販売終了につきましては、弊社のホームページ https://www.sato.co.jp でご確認ください）

【保守サポートの内容一覧表】

出向保守	オンサイト保守	故障が発生した場合、お客様のご要望により技術員を派遣し、故障の修理にあたります。
持込み保守	センドバック保守	故障が発生した場合、用紙を同梱した状態で、機器・故障ユニットを最寄りのサポートセンター・販売店へ、お客様により持ち込んで（運送して）いただいて、故障の修理にあたります。運送費はお客様負担となります。

【保守サポートの説明】

保証期間内の保守サポート
製品は 1 台ごとに検査し、お届けしていますが、安心してご使用いただくため、正常な使用のもとでの故障については、納入から 6 か月間を保証期間として無償修理をおこなっております。
サーマルヘッド、カッタ、プラテンローラーなどの消耗部品につきましては、弊社指定のサプライ製品での走行距離 30km（カッタ 30 万回）または納入から 6 か月間の早い方が無償修理対応となります。

【保守契約サポート】
最良の状態でご利用いただくために、弊社のカスタマー・エンジニア（CE）が責任を持って、製品の維持・管理をさせていただきます。

1. 優先サポート
故障発生時には、スポット保守サポートのお客様よりも優先的に対応させていただきます。

2. 全国ネットワークでスピーディーな対応（出向保守のみ）
全国電話一本で、全国を網羅するサポートセンターから弊社 CE が素早く修理にお伺いします。

3. 予防定期点検の実施
定期点検はトラブルを未然に防ぎ、製品の安定稼動、さらにシステム全体の安定稼動に寄与します。

4. 契約料金以外の費用が発生しません
最適発行環境を守るための出張料や技術料、そして交換部品代までをひとつにパッケージ。予算が立てやすく、年間維持費を最小限に抑えることができます。

5. 豊富なバリエーション
お客様のご使用環境に応じた様々なプラン（保守対応・時間帯など）をご用意しております。

※保守契約の詳細につきましては、弊社の CE が直接お伺いのうえ、ご案内させていただきます。

【スポットサポート】
保守契約サポートを申し受けていない場合、保証期間終了後、すべてスポットサポートを実施いたします。
故障時には、保守契約のお客様を優先して対応させていただきますので、修理訪問までに日数がかかることがございますが、ご了承ください。
スポットサポートを実施した場合、保守料を請求させていただきます。そのつどお支払いくださいますよう、お願いいたします。

銀行預金口座振込
お支払いには、振込手続が不要で便利な「銀行預金口座振込システム」のご利用をお勧めいたします。

登録データについて
修理を依頼される場合、機械に登録された各種データ・ソフト（フォーマット、印字ソフトなど）が壊れる場合があります（登録された各種データ、ソフトの保証はできません）。
特に預かり・持込み保守におきましては、お客様であらかじめ別途保存されることをお勧めします。修理の完了した機械の受け取り時に登録データの確認または再登録をお願いいたします。

連絡先
お客さまヘルプデスク：0120-696310（株式会社サトー 修理受付窓口）
受付時間：24 時間 365 日
詳しくは、ホームページをご確認ください。
https://www.sato.co.jp/support/